

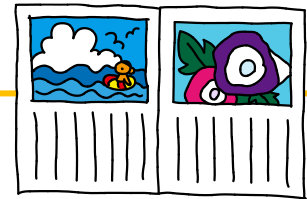


2学期スタート

25日間の夏休みを終え、学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。21日の始業式は転入生1名を迎え、全校で実施することができました。各学級では夏休み中の思い出や取り組んだ作品などを紹介し合い、大きな拍手で盛り上がっていました。また、スタートの一週間では個々の目標を確かめたり、新しい係活動を決めたりと、自分自身や友達と真剣に向き合う姿もたくさん見られました。長い2学期に向けて、しっかりと見通しを持ち、意欲的に過ごしてほしいと思います。

良いスタートを切ることができた一方で、連日の猛暑が悩ましい問題となっています。学校では毎日暑さ指数(WBGT)を確認しながら教育活動を進めています。指数が31を超えると運動は原則中止となりますので、体育の時間割変更や休み時間の過ごし方についての声かけなど、状況に応じて対応しているところです。予報ではもうしばらく暑い日が続くとのことですので、ご家庭におかれましても下校後や休日の過ごし方へのご配慮を、引き続きよろしくお願ひいたします。

↓ **2学期始業式での「児童代表の言葉」を紹介します。**



夏休みの思い出と2学期がんばること

4年3組 紺野利菜

わたしの夏休みを一言で表すと「わくわくドキドキ」です。海、花火、ショッピング、プール、勉強など夏休みにやりたいなと思っていたことを、全部することができました。特に心にのこっていることは、花火大会です。北上と花巻の二か所の花火を見ました。毎年行っている花火大会ですが、小学校4年間の中で、今年が一番盛り上がっていたと思います。マスクで顔がかくれている分、たくさんの人の笑顔が心にのこりました。もちろん花火はとってもきれいで、「夏だなあ」とうれしくなりました。

みなさんはどんな夏休みでしたか？楽しかった夏休みも昨日で終わって、今日からは2学期です。

わたしが2学期楽しみにしていることは、学習発表会と音楽発表会です。学習発表会は、今までみんな力を合わせて、成功させてきました。だから、今年もがんばりたいと思います。音楽発表会は、初めての行事なので、とても楽しみです。えんそうも楽しみだし、ほかの学校の4年生の発表を見ることがするのも楽しみです。成功させるために、わたしは、「声をきれいに話すこと」をがんばりたいです。学級委員としても、「みんなの代表なんだ」という気持ちで取り組んでいきたいです。

わたしの好きな言葉は「努力」です。わたしが苦手なことでこまっているとき、お母さんはいつも「努力してごらん」と言ってくれます。そうすることで、できるようになったことがいっぱいあるので、2学期も「努力」をしてがんばりたいです。

素敵な文章表現、堂々とした態度。とてもすばらしい発表でした。考え、表現することの大切さを改めて感じることができました。きっと充実した2学期になるでしょう！

避難訓練を行いました ～「防災」を意識して～

9月1日(金)は「防災の日」。この日を挟んで8月30日(水)から9月5日(火)までが「防災週間」です。日常的に備えておくことはもちろんですが、この期間は特に防災に関する意識を高めたいものです。その心構えが、「いざ」という時に役立ちます。



4年生 煙体験

また、4年生は全校での訓練後、場所を移動して「煙体験」も行いました。見えないことの困難さや、避難時に低い体勢をとること、動線の確保の仕方などの必要性を実感できたものと思います。

このような災害時におしゃべりがあると、次の指示が通りません。二次避難が必要になった際、行動に遅れが出てしまいます。帽子やハンカチの非着用は、落下物での怪我、煙の吸い込み等による命の危険に直結します。また、集団から離れ、規律を乱すのは、周囲にいる人の判断を迷わせてしまいます。このようなことをきちんと「考えて」訓練に参加する意識を、今後も高めていきたいと思います。

さらに、「考える＝心をこめる」言動を、日頃の生活場面でも振り返らせながら、これからのいろいろな活動に向かわせたいと考えています。

災害は予告なしでやってきます。いつ、どんな状況でも正しく判断し行動できるように、学校でもそれぞれの学年に合わせて指導しています。もしも、休日、家に一人でいるときに地震や火事が起こったら…。どう行動すればよいか、何も無い時にこそ話題にしてみただけると、生きる力に繋がるものと思います。

あいさつは心の窓

2学期が始まってすぐ、8月の児童会目標は『「学校が明るくなる」あいさつをしよう。』です。

目標達成に向け、児童会執行部が毎朝各教室に出向き、気持ちのよいあいさつを響かせています。全校のリーダーが率先して方法を考え、工夫して取り組むことで、あいさつについての意識を高めることができていると思います。さすがは若葉小学校の執行部です。

若葉小学校では、「あいさつが響く明るい学校」であり続けたいと、児童会が中心となってあいさつ運動に長く取り組んでいます。しかし、そのような意識とは裏腹に、社会全体の傾向としては、人と人との直接的なつながりが薄れてきており、目を合わせることを苦手とする人も増えているように感じます。

大切なのは「心をこめる」こと。そして、それが「自然に表れる」ことだと思います。優しい心、温かい心を育むためにも、あいさつは大切な行動です。繰り返し呼びかけていきたいものです。

